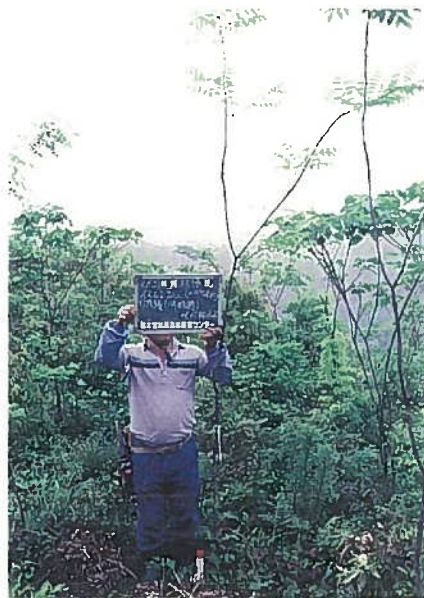


状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



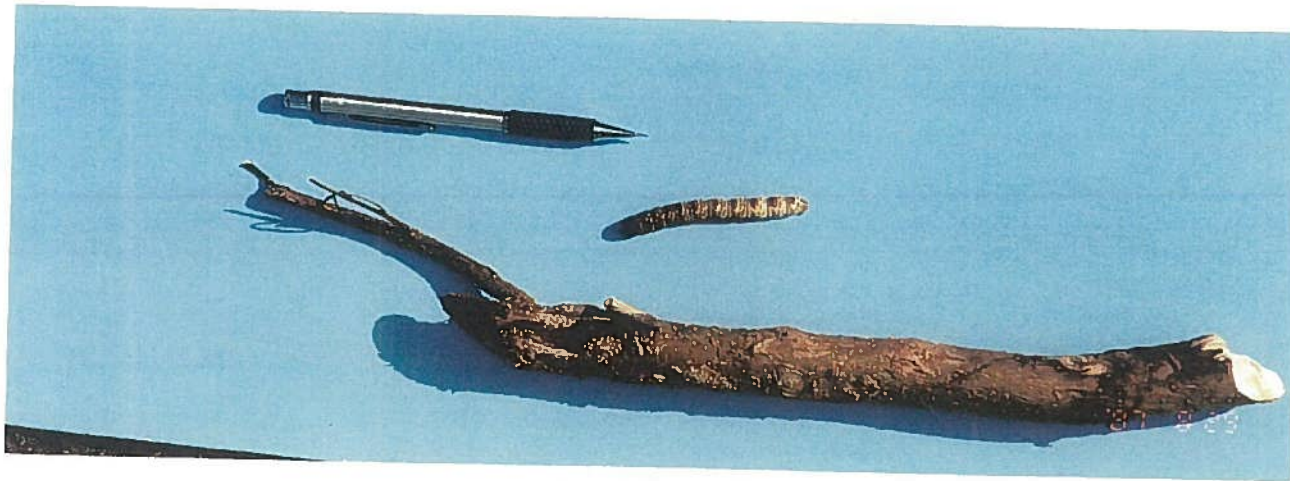
平成10年度263はイヌエンジュ整枝
平成9年度実施(1年経過)

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成9年度263は(病害虫コウモリガ)

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



コウヤク病



オニグルミ

コウヤク病 防除
殺虫剤(キンチョール)塗布

平成10年度263は被害状況

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成10年度263は鹿被害防止対策

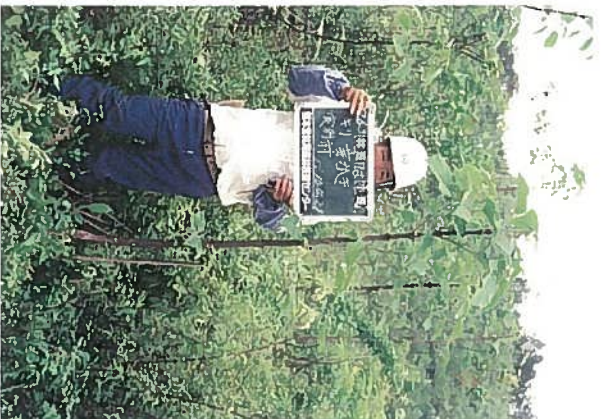
商品名 グリーンカップ

状況記録写真

区分



平成10年度263はキリ台切



平成10年度263はキリ芽かき

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



実行前



実行後



実行前



実行後

平成10年度263はヤマグワ整枝試験

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成10年度263は下刈状況

遠景

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



イヌマキ



ケヤキ

平成11年度263は下刈実行中



タブノキ



クスノキ

平成11年度263は下刈実行後

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成11年度キリ芽かき

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後



平成11年度キリ台切

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成11年度イヌエンジュ整枝

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

平成11年度イヌエンジュ整枝

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



キリ倒木起こし



ユリノキ倒木起こし



平成11年度263は台風被害復旧

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成11年度センダン整枝

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

平成11年度センダン整枝

平成10年度実行平成11年度実行後

平成10年度実行平成11年度実行前

状況記録写真

(様式6)

区分

森林技術センター



ユリノキ



キリ



キリ



ユリノキ

平成11年度263は台風5号風倒木被害

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



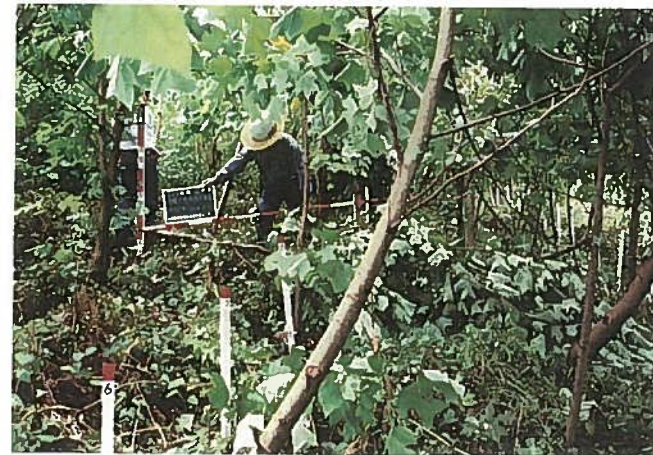
イヌマキ



センダン



ナンキンハゼ



ユリノキ

平成11年度263は台風5号風倒木被害

平成10年度技術開発実施報告書

様式2-2

No.1

課題名	暖温帯有用広葉樹人工林施行体系の確立(1班)			
課題区分	自主課題	開発箇所	去川国有林 263は林小班	開発期間 平成8年度 ～ 平成66年度
当年度別実施計画		当年度実施報告		
<p>1, 下刈</p> <p>2, 生長量調査</p> <p>3, 施肥</p> <p>4, 実施結果</p>	<p>1, 下刈 樹種別生長度に応じて全刈・筋刈・坪刈を実施、生長の早いキリ・ユリノキは無下刈 面積：3.72ha 人工数：48,250人 つる切りを実施(灯油20%使用) 人工数：30,000人 2年を経過し各種被害で枯損木も発生しており、今後のデータ収集から補植が適当と判断した10樹種について合計640木の補植を10年4月実行した 人工数：11,500人</p> <p>2, 生長量調査 10年12月調査 調査野帳別途保管</p> <p>3, 施肥 ワギリ・イヌ・材片3月実施 ワギリ・イヌ・材片以外の44種は4月実施 肥料種類：鶏糞(黒潮)・化成肥料(ワギリ・ワヤマ) クスノキ他5種については肥料種類、施肥数量別試験地設定(別紙施肥一覧表) 肥料種類、施肥数量試験地以外の樹種については鶏糞200%を施肥</p> <p>4, 実施結果 各樹種ともおおむね生育良好 シロダモに寒風害による枯損が発生 コウモリガによる穿孔害が微害ではあるが発生 ネムノキ・ヤマザクラにシカによる食害が発生したため試験的対策として外周にグリーンコップを11年2月に設置。設置後の食害は見られない その他野兔の被害が少量発生したため、わなによる野兔駆除を実施。</p>			

平成9年度技術開発実施報告書

様式2-2

No.1

課題名		暖温帯有用広葉樹人工林施行体系の確立(1班)			
課題区分	自主課題	開発個所	去川国有林 263は林小班	開発期間	平成8年度 ～ 平成66年度
当年度別実施計画			当年度実施報告		
1, 下刈			1, 下刈 樹種別作業方法は別紙1による 面積: 3.72ha 人工数: 45.250人 つる切りを実施(灯油20ℓ使用) 人工数: 37.125人		
2, 生長量調査			2, 生長量調査 別紙2(樹種別生長量調査表)による		
3, 施肥			3, 施肥 ハギドリ・イマキ・材片3月実施 ハギドリ・イマキ・材片以外の44種は4月～5月実施 肥料種類: 鶏糞(黒潮)・化成肥料(70ℓ・70ℓ) クスノキ他5種については肥料種類, 施肥数量別 試験地設定(別紙施肥一覧表) 肥料種類, 施肥数量試験地以外の樹種については、 鶏糞200ℓを施肥		
4, 実施結果			4, 実施結果 各樹種ともおおむね生育良好 タブノキ・クスノキ・ミズメ・シロダモに寒風害 と思われる枯損が発生。 カツラ・キリ・テウチグルミ等にコウモリガによる 穿孔害が微害ではあるが発生。 ネムノキ・ヤマザクラにシカによる食害が発生。 その他野兎の被害が少量発生したため、わなによる 野兎駆除を実施。		

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課題	11-1 暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立 (イチイガシ等の新たな実証試験林(展示林等)の造成)		継 統 担 当	森林技術 センター (業務第I係)	開 発 箇 所	去川園有林 263は林小班	
	目 的	有 用 広 葉 樹 (イチイガシ・クス・タブ・ケヤキ等)及び特葉樹の広葉樹適地判定育成技術等の人工林施業体系化の確立を目的とし、施業実績や実証データを収集し、暖温帯有用広葉樹等の展示林等として活用する。					
			開 発 期 間	平成8年度～平成66年度			
年度別実施経過		12年度実施報告		年度実施計画			
		実 施 内 容	備 考 (評 価 及 び 普 及 指 導)				
平成8年度 1, 試験地設定 2, 地拵・植付(春植) 3, 樹高・根元径・枝長の測定 4, 試験地標示 5, 施肥 平成9年度～平成10年度 1, 生長量調査(樹高・根元径・枝長) 2, 施肥 3, 下刈 4, つる切 平成11年度 1, 生長量調査(樹高・根元径・枝長) 2, 下刈 3, つる切	1, 下刈 各樹種の生長に依じて、全刈・筋刈・坪刈を実施。また、生育の良好な樹種については、無下刈とした。 面積: 3.72ha 人工数: 33,750人 2, つる切 灯油20鉢 人工数: 28,500人 3, 補植 ハリギリ山引き苗18本 人工数: 3,875人 4, 生長量調査 平成13年1月調査 調査野帳別途保管	1, 実施結果 概ね各樹種とも生育良好であるが、一部の樹種に枯損生育不良及びびが獣害等が発生している。 テウチグルミ・キハダに、白紋羽病と思われる枯損が発生した。 ネムノキ・ヤマザクラ・オガタマノキに、シカ食害が発生している。ヘキサチューブを設置したが、チューブの劣化に伴い被害が再発している。また、忌避剤入りのビニール袋(商品名グリーンコップ)で林縁を囲み侵入させない方法を実施している。 ヤマグワ・テウチグルミに、コウヤク病が発生している。防止対策として、蜂・タニ防除用携行殺虫スプレーを吹き付け効果を上げている。 害虫被害として、コウモリガ・クワカミキリ等の被害が発生しているが防除対策が確立したものがない。 今後、当試験地ではこのような各種被害の発生が予想されることから防除対策が最大の課題となる。	実 施 計 画	経 費 科 目			
内 訳	物 件 費	品 名		数 量	単 価	金 額	
		基 職	()人				
		臨 時	人				
		計			千円		

(注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
 3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

平成12年度実施内容

1, 下刈

各樹種の生長に応じて、全刈・筋刈・坪刈を実施。また、生育の良好な樹種については、無下刈とした。

面積：3.72ha

人工数：33.750人

2, つる切

灯油20ℓ 266円

人工数：28.500人

3, 補植

ハリギリ山引き苗18本

人工数：3.875人

4, 生長量調査

樹種別生長量調査野帳別途保管

人工数：36.250人

考察

概ね各樹種とも生育良好であるが、一部の樹種に枯損生育不良及び獣害等が発生している。

テウチグルミ・キハダに、白紋羽病と思われる枯損が発生した。ネムノキ・ヤマザクラ・オガタマノキに、鹿食害が発生している。ヘキサチューブを設置したが、チューブの劣化に伴い被害が再発している。また、忌避剤入りのビニール袋（商品名グリーンコップ）で林縁を囲み侵入させない方法を実施している。ヤマグワ・テウチグルミに、コウヤク病が発生している。防止対策として、蜂・ダニ防除用携帯殺虫スプレーを吹き付け効果を上げている。

害虫被害として、コウモリガ・クワカミキリ等の被害が発生しているが防除対策が確立されていない。

今後、当試験地ではこのような各種被害の発生が予想されることから防除対策が最大の課題となる。

平成 年度実施内容

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

平成12年度技術開発実行総括表

(単位; 円)

森林技術センター

区 分	開 発 課 題	期 間	前年度最終	当 年 度				備 考
				物件費	役務費	人件費	計	
11-1	暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立(その1)	H8~66						人件費内訳
	(イチイガシ等の新たな実証試験林(展示林等)の造成)							雇用区分 延人員
	(去川国有林263は林小班)							常 用
	雇用内訳 補植 3.875							定 期
	下刈 33.750							臨 時
	調査 36.250							計
	試験地管理 43.000							基 幹 145.375
	つる切 23.500							合計 145.375
	計 145.375							
								雇用区分 金 額
								常 用
								定 期
								臨 時
								計
								基 幹
								合計
	合 計							

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行後

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行後



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行前